



10. 株式の晴れ舞台!? 「上場」について

－ 「上場」ってなに？ 上場するとどうなるの？

証券取引所で株式が売買されるようになることを「上場」といい、その株式を発行している企業を「上場会社」といいます。

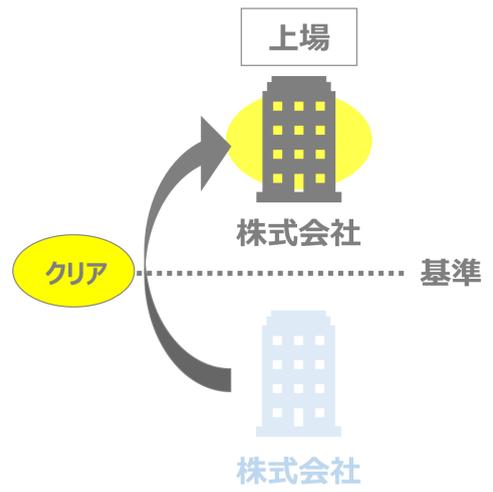
上場するためには...

株式を上場させると、会社はお金をたくさん集めることができます。

また、上場したことでその会社は世の中の人に認められ、ビジネスもしやすくなるのです。

ただし上場するには、一定の厳しい基準をクリアさせなくてはならないのです。

その基準を満たした会社だけが、証券取引所を通じて、いろんな人に株式を買ってもらえるようになります。



上場というのは、選ばれた企業にしか許されていません。

①株式単位数 ②時価総額 ③株主数 ④事業継続年数 ⑤利益額 ⑥etc...などに一定の基準があります。

厳しい基準を満たした企業だから、投資家に安心して売買してもらえるわけです。

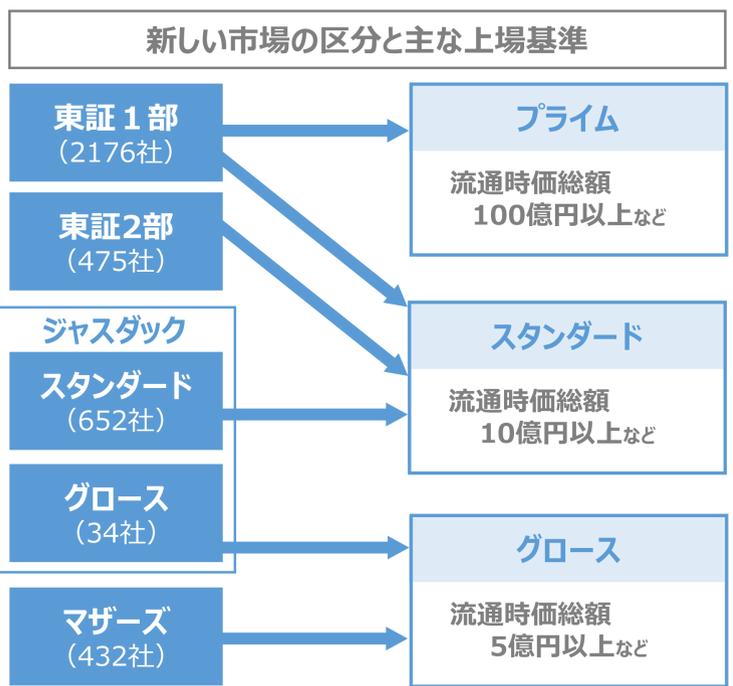
この上場基準は、取引所によって違います。

ちなみに、東京と名古屋の証券取引所では、上場が「一部」と「二部」に分けられていて、一部上場のほうが審査が厳しくなっています。

上場したい会社は、まず二部上場をめざし、その後に一部上場をめざすのがベターです。



※2022年4月から名称が変わります



※社数は2022年3月末時点

上場した企業は...

上場された企業は、経営状態などの情報を広く公開しなくてはなりません。

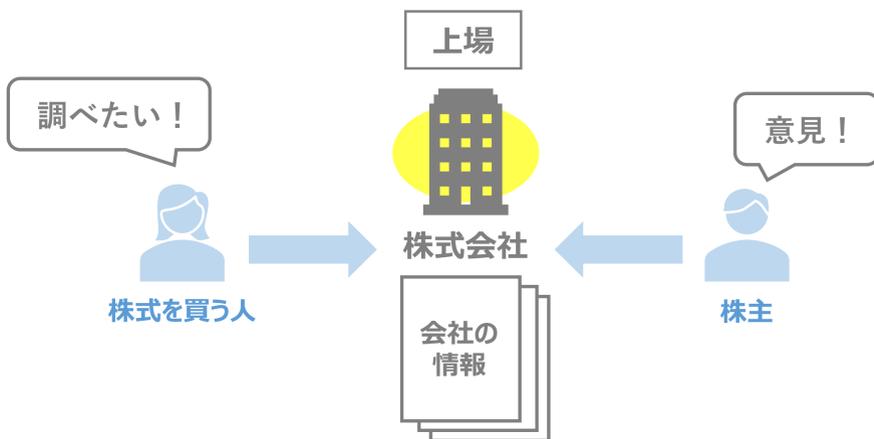
つまり透明度が大切になります。

株式を買う人たちは、「企業の経営状態をしっかり調べてから買いたい」と考えます。しかし企業は、「経営状態の良し悪しをあまり知られたくない」という時もあります。

すべての株主は、会社の経営のやり方に対して意見を言うことができます。

これは、Lesson.4で「株主総会」について話していますね。

上場して「いろんな人に株式を買ってもらうようになる」ということは、「いろんな人に意見されるようになる」ということでもあるのです。



魔弾の結論

POINT

01

証券取引所で会社の株式を売買できるようにすることを上場という

POINT

02

上場することで会社はビジネスのためのお金が集めやすくなる